取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

|  |  |
| --- | --- |
| タイトル | 高齢者の自立支援、介護予防・重度化防止の推進 |

|  |
| --- |
| 現状と課題 |
| 高齢化率が全国平均、県平均と比べ10年以上早い水準で推移している平戸市では、いち早く生活支援、介護予防新体制の充実、強化を図る必要がある。  高齢になっても可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を段階的に構築し、健やかに暮らせる安全で安心なまちづくりを推進していく必要がある。 |
| 第７期における具体的な取組 |
| ●地域ケア会議の開催  個別事例の検討を通じて、さまざまな職種の専門家によるケアマネジメント支援を行うとともに、地域のネットワーク構築、地域課題の解決、市の施策形成につなげるなど実効性のあるものとして定着・普及を図る。 |
| 目標（事業内容、指標等） |
| 平成29年度　　平成30年度　　平成31年度　　平成32年度  実施回数（回）　　　52　　　　　　50　　　　　　50　　　　　　　50 |
| 目標の評価方法 |
| * 時点   □中間見直しあり  ■実績評価のみ   * 評価の方法   地域包括支援センター運営協議会での評価（毎年） |

取組と目標に対する自己評価シート

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 令和２年度 |

|  |
| --- |
| 前期（中間見直し） |
| 実施内容 |
|  |
| 自己評価結果 |
|  |
| 課題と対応策 |
|  |

|  |
| --- |
| 後期（実績評価） |
| 実施内容 |
| ・自立支援型地域ケア個別会議の実施  ・地域ケア個別会議にかかるアンケートの実施 |
| 自己評価結果 |
| 評価【〇】  ・自立支援型地域ケア個別会議の実施（25回、47事例）感染症の影響により、開催回数は予定よりも減少した。  ・多職種が参加する会議により、地域のネットワークを構築し、地域課題の解決を促進する取組ができた。  ・専門職アドバイザー（歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、認知症介護指導者　延べ70人）によるケアマネジメント支援や地域づくり等に関する助言を受けた。  ・自立支援に効果的な助言や支援を行うため、介護支援専門員、介護事業所、専門職アドバイザーを対象としたアンケートによる評価を行った。ネットワーク構築やスキルアップになるとの意見であった。一方、地域課題が明確にならない、今後の支援につながる助言が得られなかったという意見があった。アンケートの結果は関係者と共有を図った。 |
| 課題と対応策 |
| ・感染症の影響をうけずに開催できる体制（WEB会議）を整備する必要がある。  ・各立場でのスキルアップが必要なため、研修等を行う必要がある。  ・個別会議の結果及びその後の経過報告を関係者と共有を図る。 |